

だい2かい
第2回（仮称）意思疎通条例検討部会でのご意見をまとめています。

しりょう
資料2

だい2かい
第2回

かしょう
（仮称） い し そつうじょうれいけんとうぶかい
意思疎通条例検討部会

ごいけん
ご意見まとめ

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

だい1かいごいけん ていせい 【第1回ご意見について訂正】

○ だい1かい いけん 5 ページ わりかん こべつかいけい あやまり
第1回の意見まとめの5ページに「割り勘」をしてくれたとあるが、「個別会計」の誤り。

○ だい1かい いけん みみ びょういん とりくまれ
第1回の意見まとめの3ページの耳マーク（※）について、「病院で取り組まれているが」とあるが、すべての病院で取り組まれているわけではなく、一部の大学病院で取り組まれている。「スーパーマーケットなどでも取り組んでほしい」としているところに、クリニックも加えてほしい。

※みみ きこえ ふじゆう あらわす どうじ きこえない きこえ ひと はいりよ あらわす
耳マーク：聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマーク。



みみ
耳マーク

ぜんにほんなんちょうしゃ ちゅうとしつちょうしゃだんたいれんごうかい
(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会HPより)

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

だい1かい いけん ついかいけん 【第1回ご意見について追加意見】

みじか みせ とりくみ 身近なお店での取組について

- コンビニやスーパーなどのお店で困ることと言えば、会計のところが多岐なこと。コロナ禍では、
ひまつぼうし
飛沫防止のパーテーションがあるとうまくやり取りできず、お釣りの受け取りも難しい。もう少し
ことば とり おもう
言葉でやり取りしてほしいと思うことがある。店長などは、しょうがいしゃ たいおう べんきょう
障害者への対応をよく勉強してい
りかい かた おもう
て理解している方もいると思うが、アルバイトの方などにも理解してもらうことも重要でないか。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

くみん しょうがいりかい 区民の障害理解について

- だい1かい いけん きょうつうてん いえ ば くみん しょうがいしゃ たいするおもい ちがうなか しょうがいしゃ
第1回の意見の共通点で言えば、区民の障害者に対する思いがそれぞれ違う中で、障害者への
- りかい たかめる すじみちたてて ひつよう おもう
理解について、どのように高めるか。それを筋道立ててやっていく必要があるということだと思う。
- がいしゆつ つえ ひつよう きょう でんしゃ のって せき すわれな い でんしゃ せき
○ 外出には杖が必要だが、今日も電車に乗ってきた。席があいていないと座れないので、電車で席を
- ゆずって おもう こまって ひと しゃない つたえて ゆずりあうふんいき
譲ってほしいと思う。困っている人がいることを、車内アナウンスで伝えて、譲り合う雰囲気
- つくって まわり まんいでんしゃ のって すわれ あたりまえ かんじ
作ってほしい。周りから、「満員電車に乗っているのだから座れなくて当たり前でしょ」という感じ
- がするときはある。バスでも、車内アナウンスがあるが、公共交通機関によって対応が変わってい
- る。あんがい きいて ひと わかいひと せき ゆずって きづかい たすかる
る。案外、アナウンスを聞いている人がいて、若い人が席を譲ってくれる。そういう気遣いで助かる
- ひと しって
人もいることを知ってほしい。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

わかり じょうほうていきょう 分かりやすい情報提供について

○ 区でワクチン接種の案内チラシを知的障害者用として作っていたが、ふりがなが
振ってあるだけでは、分かる方は少ないと思うので、もう少し工夫してほしかった。分かる人に説明
してもらうことなどが必要になってくるのかもしれないが、障害の程度に応じて、チラシの種類
がいくつかあるとよかった。下の方に、センターや福祉事務所が予約の手助けすると書いてあった
が、そういった情報こそ伝えてほしいと思う。

だい 2 かい かしょう い し そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第 2 回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

しゅわ 手話について

○ しゅわつうやくしゃ ふ えて しゅわ しゃかい じつげん
手話通訳者が増えてほしいが、ただそれだけでない。手話がある社会というものを実現してほしい。

しゅわ ひろめる みんかんじぎょうしゃ しょくば しょうがいしゃ りかい おもう
手話を広めることによって、民間事業者や職場での障害者への理解も広がると思う。そのことも
ふくんでしゅわ ひろめて
含んで手話を広めてほしい。

○ こうこう じゅぎょう ぜん かい ゆびもじ あいさつ しゅわ おしえて こえ はっさずしゅわ かいわ
高校の授業で、全 10 回ほど指文字や挨拶などの手話を教えてもらったが、声を発さず手話で会話

してみると、とても難しかった。10回授業を受けても、使えるようになるのは難しいと思う。や

ちいさい しゅわ ゆびもじ おしえるきかい おもう しゅわ ゆびもじ
はり小さいころに手話や指文字などを教える機会があるとよいと思う。アプリなどで手話や指文字

がくしゅう かつよう ちいさい きょうみ もて まなぶひと ふ える
を学習できるものがあるので活用するとよい。小さいころに興味を持てば、学ぶ人も増えるので
はないか。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

しよくば しょうがいりかい 職場での障害理解について

○ しょうがいしやく しょうがいりかい
障害者枠での雇用において、はつたつしょうがい かた かいしゃ いわれる おおい きく
発達障害のある方は、会社でわがままと言われることが多いと聞く。

みみ きこえて おと
耳は聞こえていても、いろいろな音が入ってきてパニックになってしまうことや、しかくてき ゆがんで
視覚的に歪んで

みえてほんよみづらいことなど、りかい こうこう だいがく しょうば
見えてしまい本が読みづらいことなど、理解されにくい。高校、大学のあと、職場でつまずくとい

うことが多い。いまこども りょういく うけ おおい いまおとな かた こども
うことが多い。今の子どもたちは療育(※1)を受けていることが多いが、今大人の方は子どもの

ときに りょういく うけて ひと たよる にがて えすおーえす だしに かた
ときに療育を受けていないので、人に頼むということが苦手でSOSを出しにくい方もいる。ジ

ョブコーチ(※2)にかいしゃ あいだ はいって おもう たいおう げんじょう
ジョブコーチ(※2)に会社との間に入ってほしいと思うが、なかなか対応してもらえないのが現状

だと思ふ。おもう けっか かいしゃ やめて ひと どうじしゃ かぞく はつたつしょうがい とくちょう
だと思ふ。結果、会社でいじめられて辞めてしまう人もいる。当事者や家族が発達障害の特徴を

ひろめて おもう こうてき きかん ふきゅう
広めていかなければいけないと思うが、公的な機関からも、もっと普及していただけるとよいと

おもう
思ふ。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

しよくば しょうがいりかい 職場での障害理解について

○ 雇用の個別場面での支援を充実するには、ジョブコーチ（※2）を増やしてほしいと思う。また、受け入れる企業の社員に対して教育などして、障害理解を広めてほしいと思う。会社は障害者を受け入れると言っている、社員が理解していないと、いじめられて辞めてしまうこともあると思う。

※1 療育：障害のある子やその可能性のある子に、発達の状態や障害特性に応じた支援を行うこと。

※2 ジョブコーチ：障害のある人が自分の特性に合った仕事ができるように就職活動の支援を行うなど、職場で障害のある人に付き添って仕事に慣れるための支援を行う人

だい 2 かい かしょう い し そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第 2 回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり じょうれい もり こむないよう 【課題の整理】(1) 条例に盛り込む内容

- 資料 3 の 2 ページの「聴覚障害者(ろう者)のコミュニケーションは手話言語である」とあるが、手話言語だけでない。すべての人が手話を使うわけではないので、誤解のないように「主な」などを付け加えてほしい。
- ほかの区の条例の資料をもらったが、手話だけの条例だったり、手話と意思疎通となっていたり、それぞれだった。練馬区はどのように整理するのか教えてほしい。
- ⇒ (区より)
- さまざまなコミュニケーション手段があるので、広くとらえていくべきでないかと自立支援協議会でも確認した。広く個々の障害特性に応じたコミュニケーション手段について取り上げる条例にしたい。

だい 2 かい かしょう い し そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第 2 回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】(2) 関連事業の検討

い し つたえる さまざま しゅだん えらべる とりくみ
～意思を伝えるための様々な手段を選ぶようにする取組について～

かいほう つくる しかくしょうがいしゃ かた はいりよ おんせいこーど つけたい おもった つくりかた
○ 会報を作るときなど、視覚障害者の方への配慮として音声コードを付けたいと思ったが、作り方が分からなかった。音声コードの作り方やメールを送る場合などの配慮も知りたいと思う。

しかくしょうがいしゃ かつじ よもろ おんせいこーど なんら ほうほう おおい
○ 視覚障害者が活字を読もうとするときは、音声コードなどの何らかの方法でできることが多い。
せいかつ なか ちよくせつはなせる もっともじゅうよう ひとり しかくしょうがいしゃ たいおう
しかし、生活の中では、直接話せるということが最も重要。一人の視覚障害者に対応するには
じかん しかくしょうがいしゃ かりかい とりくみ ひつよう
時間がかかることを、どうやって理解してもらおうかというのが、取組として必要ではないか。

だい2かい かしょう いし そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

いし つたえる さまざま しゅだん えらべる とりくみ
～意思を伝えるための様々な手段を選べるようにする取組について～

しゅわ だれ むずかしいめん こうしゅうかい もくてき しゅわ ひろめる しゅわつうやくしゃ
○手話は誰でも学べるが、難しい面もある。講習会の目的は、手話を広めること、手話通訳者を
そだてる ちょうかくしょうがいしゃ しゃかいさんか みつつ こうしゅうかい いろいろ ばしょ
育てること、聴覚障害者の社会参加という三つがある。しかし、講習会は色々な場所であるわ
けでない。まなべるば つくって ひつよう おもう くわえて がっこうきょういく
学べる場をたくさん作っていく必要があると思う。それに加えて、学校教育において
じゅうじつ ひつよう しょうがい おしえる
の充実も必要。障害とはどういったものかというのを教えるカリキュラムもあるとよいと思
う。がっこうきょういく なか しゅわきょういく せっきよくてき とりいれて ひつよう
学校教育の中で、手話教育を積極的に取り入れていくということも必要ではないか。

だい2かい かしょう いし そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】(2) 関連事業の検討

いし つたえる さまざま しゅだん えらべる とりくみ
～意思を伝えるための様々な手段を選べるようにする取組について～

いぜん かいもの たのんだ
○以前、コンビニで買い物をしようとしたとき、ホットコーヒーを頼んだのに、アイスコーヒーが
きたり えむ たのんだ えす きたり ひょう ゆびさし
来たり、Mを頼んだのにSが来たり、ということがあった。コンビニでもメニュー表で、指差し
ちゅうもん おおい たいへんたすかって いっぽふみこんで あたためる・
注文できることが多いので、これは大変助かっている。これをもう一歩踏み込んで、「温める/
あためない ぶくろ おおきさ ようい よい
温めない」などだけでなく、レジ袋の大きさなどのパネルを用意してもらえると、とても良いと
おもう ひとつふみこむ みみ はり
思う。もう一つ踏み込むと、コンビニでもカードがあるので、耳マークシールを貼り、カードで
あんない おもう じょうれい もりこん おもう
案内してもらえるとよいと思う。そういったことも条例に盛り込んでもらえるとよいと思う。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

いしそつう しゅだん はば ひろげる あいしーていー かつよう とりくみ
～意思疎通の手段の幅を広げるためのICTを活用する取組について～

しせんじゅうりょく あいしーていー かつよう こうざ ずーむ 1じかん ないよう
○視線入力などICTの活用についての講座がZOOMで行われている。1時間くらいの内容で
むりよう つかいかた おしえて こうざ しょしんしゃ じゅこう わからないぶぶん
無料、パソコンの使い方から教えてくれる講座があり、初心者でも受講しやすい。分からない部分
もその場で質問ができる。支援者や家族、学校の先生などが受講している場合が多い。導入に向
けてのきっかけ作りだが、あいしーていー はじめてふれる よい せんせい やさしい
ントだと思う。ハードルもあまり感じにくい。もっと詳しく学びたい場合は、講師のブログで
じょうほう える
情報を得ることもできる。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

いしそつう しゅだん はば ひろげる あいしーていー
～意思疎通の手段の幅を広げるためのICTを活用する取組について～

○スマホの講習会を視覚障害者の間でも受けている人が増えていると聞く。スマホの活用でいうと、自分の洋服の色を確認するアプリや、スマホで写真を撮って友達に聞くというのがあると思う。最新のものだと、スマホと信号機を連動させることによって、信号の色が分かるというのがあると聞いた。東京では、まだ対応している信号機は2～3本らしいと聞いている。使える人にとっては便利になっていると思う。

○スマホには苦手意識がある。やってみようと思えるようにするには、スマホについては任せて、という相談先があればよい。ワクチン接種の時もそうだったが、コールセンターのような「ここに聞けば大丈夫」という相談先があるとよい。無料で利用できる場所、相談相手があるとかなり有効。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】(2) 関連事業の検討

いしそつう しゅだん はば ひろげる あいしーていー かつよう とりくみ
～意思疎通の手段の幅を広げるためのICTを活用する取組について～

しょうがいしゃ かぞく こうれいか すすんで あいしーていー つかおう いって つかって おおい
○ 障害者の家族も高齢化が進んでおり、ICTを使おうと言っても使っていない人が多い。そもそ
もスマホを使っていない、もっていてもあまり使えていない。かいぎ ずーむかいぎ
会議でZOOM会議をやることもあ
るがぜんいん じょうきょう いたって どうにゅう ひよう てま
全員ができるという状況には至っていない。導入するとなると、それなりに費用や手間が
かかる。じたく わいふあい ひと おおい つかおう おもって つかいかた わからなかったり ひよう
自宅にWi-Fiがない人も多い。使おうと思っても、使い方が分からなかったり、費用が
かかったりなど、ハードルがある。ひよう めやす しめして そうだんまどぐち
費用の目安などを示してもらったり、相談窓口があるとよい
おもう
と思う。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

いしそつう しゅだん はば ひろげる あいしーていー かつよう とりくみ
～意思疎通の手段の幅を広げるためのICTを活用する取組について～

わい ふあい しょうがいしゃちいきせいかつしえんせんたー つかえる つかいやすい むりょう
○Wi-Fiを障害者地域生活支援センターで使えるようになると、スマホも使いやすい。無料で
つかるばしょ おもう
使える場所があるとよいと思う。

ならう なれ つかえる おもう むりょう わい ふあい つかえる
○スマホはよくわからないが、習うより慣れろで使えるようになると思う。無料でWi-Fiを
つかえる
使える場所があるとよい。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめるとりくみ
～様々な手段があることや障害特性の理解を広める取組について～

- コンビニなどのお店でそれぞれコミュニケーションボードを用意するのは大変だと思う。本人が
必要とする自分用のカードを持っているというのが現実的かもしれない。それを本人が作るのも
大変かもしれないので、データをダウンロードしやすくしておくなど、自分用のカードを作りや
すくする手助けなどの取組が必要だと思う。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめるとりくみ
～様々な手段があることや障害特性の理解を広める取組について～

しょうてんがい しょうがいしゃ でむいていって てんじ じゅんび ほう しゃしん
○商店街に障害者が出向いて行って、「メニューは点字を準備した方がよい」、「写真をつけたら
わかりやすい」、「障害者が来たらこのように対応する」など、意見を交わしながら取組を行うこ
とは、共生社会を目指すことになると思う。また、防災訓練に参加したことがあるが、とても
よいと思った。共通の関心ごとなので障害の有無にかかわらず、関わりやすい。

じたく えき むかう のる いえ いちばんちかい ばすてい ちかく おうだんほどう しんごうき
○自宅から駅に向かうときにバスに乗るが、家から一番近いバス停の近くの横断歩道には信号機が
ない。ガイドヘルパーと一緒にない時は、一人でその横断歩道を渡るのは怖いので、二駅歩く。
きんじょ こえ かけあう ふたえきあるかず すむ おもう
近所で声を掛け合うということがあれば、二駅歩かずに済むと思う。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめるとりくみ
～様々な手段があることや障害特性の理解を広める取組について～

ひとり しって じっさい かかわるきかい ひつよう おもう かかわるきかい すくない かかわる
○一人ひとりを知ってもらうには、実際に関わる機会が必要だと思う。関わる機会が少ない。関わる
めんどろ おもわれて かかわって かんじたり ひと だいがくせい こうりゅう
と面倒と思われていたり、関わってもメリットがないと感じたりする人がいる。大学生と交流し
たが、関わる前は、「コミュニケーションが取れない」とか、「知能が遅れている」というイメー
ジだったという人がいた。実際に関わると、イメージが変わったという人がいた。当事者と関わる
じかん もって おもう こうりゅう りかい ふかまる おもう
時間を持ってもらえたらよいと思う。交流することで理解が深まると思う。

りかい しんとう はいりょ おおい でんしゃ
○ヘルプマークへの理解が浸透してない。つけていても配慮がないことが多い。電車やバスでも、
はって しんとう おもう
ヘルプマークのステッカーが貼ってあるが、もっと浸透させてほしいと思う。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう
【課題の整理】（2）関連事業の検討

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめるとりくみ
～様々な手段があることや障害特性の理解を広める取組について～

○コミュニケーションボードでやりとりできるようにする取組はよいと思う。コミュニケーションボードがあるということをしらせるステッカーをお店の入り口に貼っておくともっとよい。それを見て入店し、コミュニケーションボードを使って話をしたいと知らせて、対応してもらえようになったらよい。指差しで何個買うかなど示せるようにすればよいと思う。ルビを振ることも必要。

だい2かい かしょう いし そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめるとりくみ
～様々な手段があることや障害特性の理解を広める取組について～

しんたいしょうがい かた がっこう こうし よばれていく きて べんきょう
○身体障害のある方が、学校に講師として呼ばれて行くと「あなたが来てくれると、勉強になる」

いわれた ほんにん おもう しょうがい うむ わけてきょういく
と言われたが、本人からすると、そう思うならどうして障害の有無で分けて教育するのかとい

おもい きじ みた わたしじしん くみんたいしょう こうざ こうし たのまれた
う思いがあるという記事を見た。私自身、区民対象の講座の講師を頼まれたことがあったが、

ちてきしょうがいしゃ かかわった たいおう わからない ひと おおい きいた
知的障害者と関わったことがないから、対応が分からないという人が多いと聞いた。やはり、

ちいさい ふれあうきかい いっしょ そだつ かんきょう ひつよう おもう こうりゅう
小さいころから触れ合う機会があって、一緒に育つという環境が必要だと思う。交流というよ

いっしょ そだつ おもう おなじしゃかい いちいん
り、一緒に育つということができればよいと思う。それによって、同じ社会の一員であるという

いしき そだって おもう しょうがいしゃだんたい がっこう いってまなぶきかい つくる
意識が育っていくと思う。障害者団体などが、学校に行き行って学ぶ機会を作ることもしているが、

こんご ひつよう おもう
今後必要だと思う。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめるとりくみ
～様々な手段があることや障害特性の理解を広める取組について～

- わたし しょくば ちょうかくしょうがいしゃ さいよう ちよくぞく じょうし どうりょう かならずついたちけんしゅう うける
○ 私のいる職場では聴覚障害者を採用すると、直属の上司や同僚は必ず一日研修を受ける。
- ちょうかくしょうがい しょうがい しょうがいとくせい たいおうほうほう ないよう けんしゅう けんしゅう うける
聴覚障害とはどんな障害か、障害特性や対応方法などの内容を研修する。研修を受けると、
- じょうし どうりょう うけいれるがわ きもち かわった きく きょういく げんば どうとく
上司や同僚、受け入れる側の気持ちが変わったと聞く。こういったことを教育の現場でも、道徳
- じかん かつよう とりくんで おもう く たようせい りかいそくしん とりくんで
の時間を活用するなどして、取り組んでほしいと思う。区でも多様性の理解促進に取り組んでい
- おもふ まんが わかりやすくつたえるしりょう
ると思うが、漫画などで分かりやすく伝える資料をダウンロードできるようにすることなども
- ひつよう おもう
必要だと思う。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回（仮称）意思疎通条例検討部会のご意見

かだい せいり かんれんじぎょう けんとう 【課題の整理】（2）関連事業の検討

さまざま しゅだん しょうがいとくせい りかい ひろめるとりくみ
～様々な手段があることや障害特性の理解を広める取組について～

しょうがいしゃこようそくしんほう しょうがいしゃ こよう ちょうかくしょうがいしゃ いし そつう とりづらさ
○ 障害者雇用促進法で障害者が雇用しやすくなった。聴覚障害者は意思の疎通の取りづらさは
あるが、からだ うごかせるので、さいよう さいようすう ふえて
採用しやすいため、採用数は増えても、コ
ミュニケーション方法や職場環境をどうするかなどはいりよ かいだい きゅうけいじかん
配慮がどこまでできるかが課題。休憩時間
ひとり はたらくたのしさ たいけん
一人になってしまうということもあつたりして、働く楽しさややりがいは、なかなか体験できな
い。しごと かんじて ひと おおく あくじゅんかん おもう
仕事ばかりしていると感じてつらくなり、やめる人も多く、悪循環があると思う。そういつ
たことをしって たいおう とりくみ ひつよう おもう
たことを知ってもらい対応する取組が必要だと思ふ。

だい2かい かしょう いしそつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第2回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

そのた ごいけん 【その他のご意見】

- しょうがいしゃさべつかいしょうほう 障害者差別解消法があるが、さべつ 差別がなくなったかということとそんなことはないと思う。おも 行政機関
ごうりてきはいりよ ていきょう ぎむか みんかん どりよくぎむ は合理的配慮の提供が義務化。民間は努力義務なのでなかなかすすんで 進んでいないと思う。おも 鉄道やバ
りよう ス、利用しにくいところがある。つえもって かたがた 杖持っている方々がいたとしても、せきゆずって 席譲ってくれないなど、な
すすまない かなか進まない。そういったことがなくなるようとりくむ 取り組むのもたいせつ 大切だおも と思う。

だい 2 かい かしょう い し そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第 2 回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

○ しょうがいしゃちいきせいかつしえんせんたー 障害者地域生活支援センターで しつもん 質問すると こたえ 答えを おしえて 教えてもらったり、ちゅうい ダメなことを注意されたりすることがある。でも、その かてい 過程が わからない 分からないと同じことを おなじ 繰り返して くりかえして しまう。 こたえ 答えばかり おしえない 教えないで まなぶきかい 学ぶ機会が ほしい 欲しいと思う。 おもう どう思うか、 おもう どう考えるか かんがえる 話し合いが はなしあい ほしい。 かんがえるちから 考える力を やしなえない 養えないと思う。 おもう 参加している さんか 団体では、 だんたい 壁が かべ なく いけん 意見を いいあえる 言い合える。 ひと いろいろな いけん 人の意見を きいて 聞いて、 かんがえるじかん 考える時間がある。 なかま 仲間もできる。 せいちょう できなかったことができるようになる。 かんじる 成長できたと かんじる 感じる かんじる ことができる。

だい 2 かい かしょう い し そつうじょうれいけんとうぶかい いけん 第 2 回 (仮称) 意思疎通条例検討部会のご意見

○^{はったつしょうがい} 発達障害^{ばあい} の場合^{しゅうろう} の就労^{ほんにん} は、本人^{けんしゅうきかん} の研修期間^{しゅうい} はあっても、周囲^{りかい} には理解^{しゅうしょく} されないまま就職^{しゅうしょく} して
いるという現^{げんじょう} 状^{おも} もあると思う。特性^{とくせい} が様々^{さまざま} あるので、会社^{かいしゃ} の受入れ^{うけいれ} が難^{むずかしい} しい面^{めん} もあると思う。
会社^{かいしゃ} でも大学^{だいがく} でも、合理的^{ごうりてきはいりよ} 配慮^{おも} はあると思うが、配慮^{はいりよ} を受ける障^{うけるしょうがい} 害^{がわ} のある側^{がわ} からアピールするの
は難^{むずかしい} しい。社内^{しゃない} で溶^{とけ} け込^こ めないと思^{おも} うと言^い いづ^い らい。配慮^{はいりよ} が適^{てきせつ} 切^{せつ} にされ^さ れているか、客観^{きゃつかん} 的^{てき} に判断^{はんだん}
してくれ^ほ ると^し ころが欲^ほ しいと思^{おも} う。企業^{きぎょう} として合理的^{ごうりてきはいりよ} 配慮^{おも} をするとい^い うのを掲^か げて^か いても、実^じ 際^{さい}
どうなの^{じっこう} か、それ^{じっこう} を実行^{じっこう} しているのかジャッジ^{おわ} をして^わ もらえ^わ ないと、そのま^お ま^わ で終^お わ^わ ってしま^わ う
こと^{たい} もある^お のでは^わ ないか。きちん^{たい} と対^{たい} 応^お しているか^{たい} どうかを公^{こう} 表^{ひょう} して判断^{はんだん} できる^{しゃ} 社会^{かい} にな^{しゃ} って
ほ^ほ しい。